



東高だより

2015 No.9

平成 27 年 12 月 14 日 発行 発行元：宮城県仙台東高等学校

〒984-0832

仙台市若林区下飯田字高野東70番地

Tel 022-289-4140 Fax 022-289-4383

http://higasi-h.myswan.ne.jp/

〈英語科講演会 11月12日(木)〉

英語科1学年から3学年の生徒全員を対象にした「英語科講演会」が行われました。

演題は、「Ideas for Creating Your Future -Advice from your Senpai-」です。講師は、石川彩乃さんと、猪又弘毅さんでした。お二人とも、本校の卒業生（平成20年度卒業）です。本校英語科で学び、留学体験を経て、外国語をツールとして仕事をしている先輩の話聞くことによって、今現在高校生活を送っている現役の生徒が、本校英語科で何をどう学ぶべきか、自分の進路希望とその実現に向けて考えておくべきことは何か、そして近い将来社会人としてどのように生きるかを考えるための貴重な契機となった講演会でした。

【石川彩乃さんのお話のキーワード】

・「覚悟と決意」

高3の夏、進路希望の変更

→中国の大学への進学

→1年間フリーター

・「無知を自覚する」

・「学校や先生を有効活用」

・「勉強以外の興味から英語をつなげる」

→東高生の今、皆さんができること



石川彩乃さん

【猪又弘毅さんのお話のキーワード】

・「留学が大事なのではなく留学の後の大事」

・「箱の外を考える」

・「直感を信じて動いてみる」

・「尊敬できる人を見つける」

・「やりたいことをとことん追求する」



猪又弘毅さん



【感想】

石川さんと猪又さんは、全く違った形でのプレゼンテーションだったが、どちらの話にも引き込まれた。自分がオーストラリアで学んだことは、言語以外にも意思表示に関することや文化の違いなど様々だったが、「留学」で行くということは本当にそこで生活を送る（住む）ということなので、更に気づきが得られるのだろうなと思った。留学にもともと興味があったため、とてもためになり、参考になる話だった。お金持ちの優秀な者だけが行けるという勝手なイメージがなくなり、自分にもできるのではないかと思えるようになった。本当にいい時間だなと感じました。ありがとうございました。（1年女子）

「箱にとらわれない」ということを知り、自分はまだ箱の中にとどまっていると感じました。外の世界を知ることで、新しいことに気づくことができるということが分かりました。先輩方はしっかり外の世界のことを考え、やりたいことをとことん追求できていてとてもすごいと思います。今回学んだことを無駄にせず、自分の将来を考えることに役立てていきたいと思います。（2年女子）

2人の留学の話聞いて、留学したいという気持ちがより一層強まりました。2人ともすごく充実した留学生活を過ごしていてかっこいいなと思いました。毎日同じようなことの繰り返し生活は嫌なので、いろいろ調べていろんなことに興味を持ってみたいと思います。（1年女子）



「箱の外を考える」という言葉がすごく印象に残った。人には人それぞれの考えがあって、そんな考え方もできるのだと感じた。視野の広さって大事だと思ったので、自分も視野の広い人間になりたいし、これから頑張って英語をもっと上手くなって海外に行きたい。（2年女子）

箱にとらわれないという発想や、やってみると意外な結果になるということについて、とても考えさせられました。自分自身、留学をしてみたいと思っていたので、よい刺激になりました。視野が狭いままでよくないので、箱にとらわれず外側に出て行くことが大切なのだと思います。

先輩方のお話を聞いたからこそ、自分にとって新たに得られることが数多くありました。大学に行くことがゴールではなく、その後が大切なのだと思います。これからについてもう一度考えていきたいです。（3年女子）

自分の住んでいる世界というものは、やっぱり小さいものなんだと思った。班の活動でも、自分の班の考えしか出てこなかったし、他の班の話聞き、思いもよらない答えを聞くことができとても感心した。今日の講演で海外に行きたいという気持ちが強くなった。大学に行ったら、外国に行くプログラムがあったので絶対に行きたいと思う。自分のいる高校の卒業生が留学をして海外の経験をしていることが、とても自分に近く感じることで、自分にでもできるのではないかと自信につながった。本当に貴重な話を聴かせていただきありがとうございました。これから、自分で世界にチャレンジしていきたいです。（3年男子）